

すいさん山形

No. 367

令和4年 / 11月号

漁民と手をつなく広報誌

山形県漁業協同組合
広報誌

秋が来た!

10月中旬、秋晴れの心地よいある日、豊浦支所長瀬次長から数枚の写真が届きました。それは、豊浦支所で水揚げされた定置網の様子でした。庄内地方では「サケ」のことを「ヨオ」や「イオ」と呼びます。その語源は魚(ウオ)であり、「サケ」は魚界を代表するいわば「魚の王」です。これからますます魚がおいしい季節に突入し、庄内浜での水揚げも最盛期を迎えます。本誌巻頭ページでは今が旬の「サケ」について掘り下げて紹介しています。ぜひご覧ください。

庄内浜の現状と課題

最上丸漁場調査から紐解く

庄内浜の現状と課題ということを水産研究所の立場から何か書けませんかとという提案がありましたので、最上丸の漁場調査などの水産研究所の調査研究結果や漁獲資料（山形県の水産）等に基づいて説明してみたいと思います。

まずは最上丸が例年行っている「漁期前調査」の結果から底びき網漁場のことを考えてみます。最上丸の漁期前調査というのは、底曳網休漁中の7～8月に「たら場」（概ね水深300m前後）や沖合礁で実施してきた試験操業のことで、魚種別の採捕量や体長組成のデータを取り続けています。小職が山形県に採用された平成8年度から30年度までの採捕量と上位魚種を辿ってみますと、たら場の採捕量（図1）は平成17年度に急落して、多少の変動はあるものの回復してはいません。上位魚種を示した表1に表れているとおり、採捕量の大半を占めていたスケトウダラとホッケの両種が大幅に減少した影響です。これは実際の漁獲量にも表れていて、かつては数百トンの水揚げがあったスケトウダラの昨年の漁獲量は0.3トンと皆無に等しい状況でした。

また、最上丸はハタハタの沿岸調査も長年行っています。桁曳網や底びき網の調査で、1～2年先の資源状況を予測することができず。稚魚や若齢魚の少なさから昨今のハタハタ漁の不振は予想されていましたが、対応策は小型魚の獲り控えによる資源の温存くらいしかなく、やるせない思いでした。今後のことですが、温暖化により海水温

が上昇していく海洋環境変化の中でスケトウダラやホッケの資源が戻ることはちょっと想像しにくいところだと思います。それに対し、暖水性魚種は増加してくるものが期待されます。実際に増加した代表格はサワラです。他に全国的な高級魚であるケンサキイカやハタ類などの増加がみられています。

図1 たら場における最上丸の漁期前調査の結果

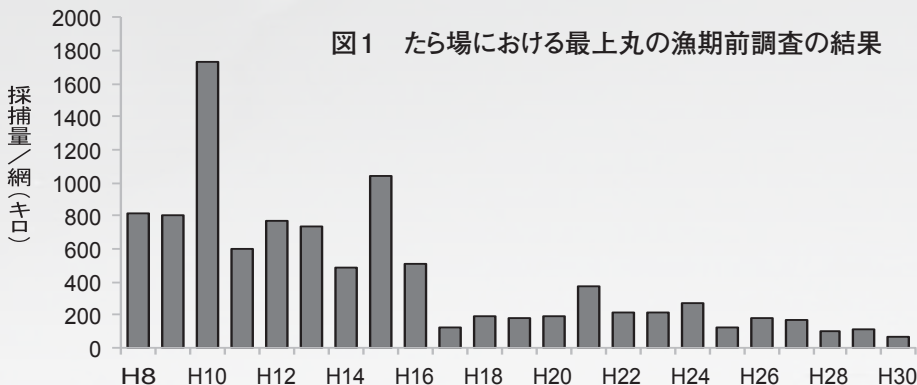
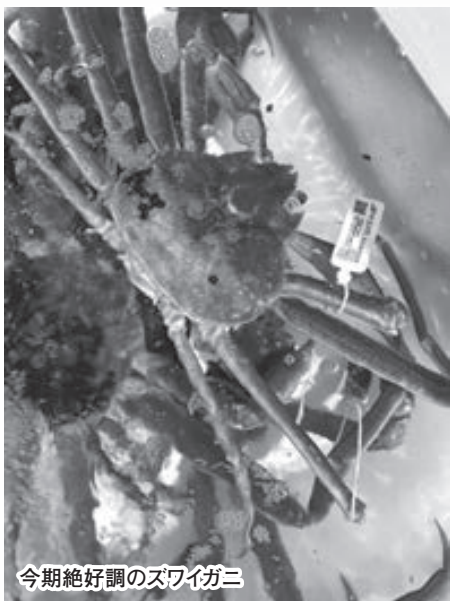


表1 漁期前調査における採捕量の上位種（5%以下の魚種は含めない）

	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
ホッケ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1		3	4	4	4		4		
スケトウダラ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2	2	
マダラ																2	2	2	2	1	1	1	1
ハツメ(あから)																		3	3	3	3	3	
カレイ類																3	4	3					4



今期絶好調のズワイガニ

以上、漁業資源の変遷について概観しましたが、他に触れずにはおけない切実な現状に魚価の低迷があります。タイ類とホッコクアカエビを例に取りますと、平成8年と直近の令和2年の平均単価の比較では、タイ類は1,138円→560円、ホッコクアカエビは1,861円→1,146円と大きく値を下げています。魚価低迷への対抗策はやはり、皆様が取り組まれている鮮度向上や加工品開発そして認知度の向上に他ならないのだと思います。

水産研究所の使命は漁業の現場が直面している資源や魚価の課題に立ち向かうための技術開発です。現在、漁業資源の面では最上丸による漁場探索調査（スルメイカ、ズワイガニ等）やアワビやナマコの資源造成支援、魚価向上に向けては鮮度保持（活け越し、神経締め等）や活魚出荷（ホッコクアカエビ等）の技術開発を進めており、来年度からは「暖水性魚種を対象とする新漁業技術開発」や「冷やし」に特化した鮮度保持技術の開発にも取り組む予定です。関係者の皆様と意見・情報交換をしながら実施していきますので、よろしくご願ひ申し上げます。

追伸…この原稿を書いている10月下旬時点ではカニの水揚げは絶好調です。しかし、気になるのは小型ガニが多いという状況です。小型ガニの多くは最終脱皮を経て大型ガニになります。操業回数の制限とともに小型ガニの漁場回避や再放流の取り組みにより、高品質の大型ガニである、庄内北前ガニの増産を目指すのはいかがでしょうか。

山形県水産研究所海洋資源調査部長 高澤 俊秀

庄内浜に秋の訪れを告げる サケの動向を視る

秋深まる中、いよいよサケシーズンが到来しましたね。サケは言わずと知れた庄内の秋を代表する重要魚種の一つです。今回はサケの現状と課題について焦点を当てたいと思います。

サケ資源はサケふ化放流事業により造成されています。庄内浜で水揚げされるサケは、生まれた川に戻る途中に漁獲されたものになります。漁獲されなかつたサケは、河川で採捕、採卵され、ふ化放流事業に供されます。採卵された卵は、ふ化、飼育、放流を経て、海に下り、4年後に生まれた川に戻り、また新たな資源が造成されます。まさに、サケは持続可能な漁業の優等生のような魚種です。

近年サケは全国的に不漁で、昨年度の漁獲量は北海道で53千トン（対前年比106%）、本州日本海側で377トン（対前年比38%）、本州太平洋側では796トン（対前年比27%）で、本州側の不漁が目立ち、特に太平洋側は歴史的大不漁に見舞われました。昨年だけでなく、ここ数年全国的な不漁の傾向が続いている状況です。

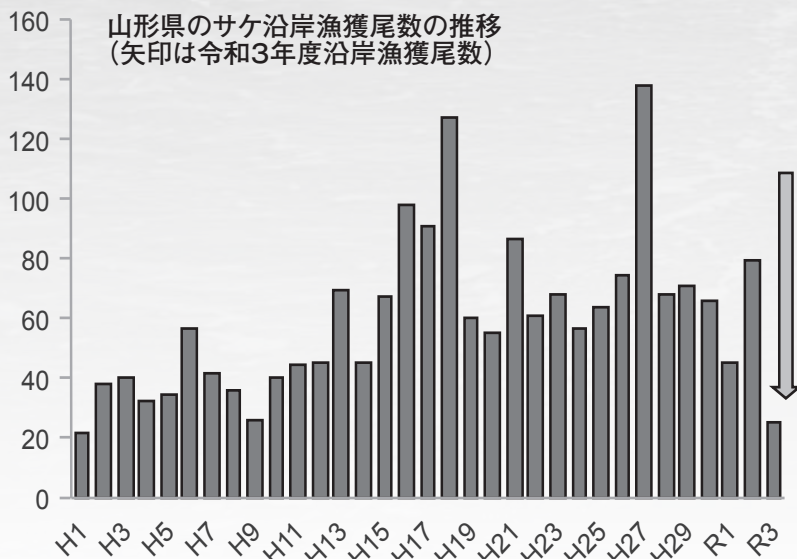
山形県の漁獲状況も全国と同様で、昨年の沿岸

漁獲量は79トン（25千尾）で、対前年比31%と平成以降ワースト2と記録的大不漁でした。河川の採捕尾数も同様に振るわず、山形県全体で70千尾、対前年比49%でありました。

毎年水産研究所で行っているサケの沿岸来遊予測の結果では、今年度のサケの沿岸漁獲尾数は198トン（63千尾）対前年比253%と昨年度より良くなる予測です。11月上旬までの沿岸漁獲は55トン（20千尾）で予測（88トン、28千尾）を下回っていますが、今後の漁獲量の増加に期待したいところです。

山形県のサケ沿岸漁獲尾数の推移
(矢印は令和3年度沿岸漁獲尾数)

沿岸漁獲尾数(千尾)



近年の全国的な不漁を受け、国では令和3年に「不漁問題に関する検討会」を立ち上げ、サケ不漁の原因究明と今後の施策の方向性について検討しました。その中で、近年の北海道や本州太平洋側の不漁の背景には、親潮の弱勢化や津軽海峡を抜ける対馬暖流の強さ等が影響しているとの仮説が出されました。一方で、日本海側の不漁要因については、有力な説が出るまでに至っておらず、今後原因究明が急がれます。

現在さけ・ます等栽培対象資源対策事業が行われており、関係研究機関と連携して、ふ化放流事業の高度化、回帰率向上のため、サケ稚魚の沿岸での成長・減耗に関係する海洋環境の要因を探索することを目的とし研究を実施しています。山形県では、最上丸を使った沿岸稚魚調査や生息環境調査の他、放流稚魚への耳石標識、回帰親魚調査を実施しています。これらの研究により、ふ化放流事業の高度化を図り、山形沿岸に来遊するサケを増加させ、漁獲量の増加に繋げることを目指しています。

山形県水産研究所浅海増殖部 主任専門研究員 粕谷 和寿



2022みなとオアシスマつり
×
海のマルシェ

がぶり! まるごと酒田港



10月16日(日)、「みなとオアシスマつり」と「海のマルシェ」がコラボした「がぶり! まるごと酒田港」が開催され、酒田港周辺は大いに盛り上がりを見せました。飛島直送のサザエつぼやきや、庄内浜テロワールのフードコートなど海の美味しいものから、乗船体験やゲームクイズ大会、スケートボードのデモンストレーション、海洋少年団の手旗信号の披露など海にまつわる様々な楽しいイベントが繰り広げられました。

その中でも特に小さい子に大人気だったのは、当漁協で準備したタッチプールではなかったでしょうか。タッチプール内のヒトデやサザエは、地元の漁業者から提供されたもので、普段から酒田港周辺に生息している生き物たちですが、身近に触れることはあまりできないと思います。その珍しさも手伝って、子どもたちはプールからなかなか離れようとしませんでした。また、北前ガニやサワラを使っただけの模擬セリも行われ、そちらも大好評でした。

こうした海にまつわる生き物、乗り物などを身近に感じる機会を増やし、酒田港の魅力がもっと伝わればいいと思います。

販売企画課長代理 **岡部 太郎**



10/15(土)、16日に行われた「つるおか大産業まつり」は、コロナ禍において待ちに待った3年ぶりのイベントとなりました。幸い天候にも恵まれた秋晴れの下、飛ぶように売れた我が水産加工場の商品をご紹介します

- 全て庄内産!**
- ・人気ロングセラーのイカ醤油焼き
 - ・私も大好き甘エビの唐揚げ
 - ・今回の主役、アンコウ唐揚げ
 - ・お得なミックスフライ(ホッケ、イカ、アジなど)
 - ・ホッケと間違われるほど大きい、アジの開き焼き

意外にもアンコウの唐揚げは揚げた先から飛ぶように売れました。私にとっては、「アンコウ=鍋」のイメージを持っていたので、新しい発見でした。

当日は、特にお昼頃にかけて長蛇の列ができ、「みんなこの日を待ってたのね〜、食べたかったのね〜(^o^)」と思わず心の中でつぶやきました。

お客様の中には前日お買い上げいただいたリピーターもいらっしゃるまして「そうでしょ、そうでしょ、一度食べたら分かるでしょ(笑)」とまた心の中でつぶやく私がありました。

あまりの混雑にゆっくり写真を撮る間もなく、やっとのことで撮影した写真を紹介しますが、当日の賑わいはうまく伝わるでしょうか。来年はぜひ会場に来て、その目で確かめてみてください。きっと新しい何かに出会えるはずですよ。

販売企画課(兼)購買課 **阿部 文枝**



とれたて! お魚市 エビ・カニ祭り 開催!

今年は、近年になくズワイガニの水揚げが大変好調です。そんな最中の10月29日、3年ぶりに鼠ヶ関港で開催されたエビ・カニ祭りには、肌寒い朝早くからたくさんの方が訪れ行列を作りました。

例年大好評を博していた知る人ぞ知るこのお祭りですが、久しぶりの開催に予想をはるかに超える盛況ぶりでした。

当日大鍋に準備した一杯500円のエビ汁300人前とカニ汁600人前はすべて完売し、あいにくの曇り空の下ではありましたが、海を見ながら海の幸を楽しむたくさんのお客様の姿に我々職員もうれしくなりました。

来年もぜひ開催し、地域の活性化につなげていけるよう期待しています。

念珠関総括支所 **結城 拓哉**

職場見学会・職場体験レポート



こども探検隊

9月17日(土)、山形新聞社主催の「庄内こども探検隊」が開催され、参加した県内の小学3年生から6年生の児童たちが最上川や酒田港等を見学しました。

当日昼頃県漁協に到着した皆さんには、当施設の中でも特にアミューズメント感が強い立体冷蔵庫で「マイナス25度」の世界を堪能していただきながら、「いかのまち酒田」の「スルメイカ」と、山形県の栽培事業の重要魚種である「アワビ」について学んでいただきました。

鶴岡市立斎小学校

10月12日(水)には、鶴岡市立斎小学校5年生の皆さんが見学に来てくれました。

小学校では5年生になると、日本の水産業について学ぶようになりますが、海に近い庄内地方の子供たちは、気軽に県漁協を見学することができ、私たちもまた、魚離れが叫ばれる昨今において、子供たちが魚へ興味を持ってもらうための良い機会をいただいています。

この日は、当漁協職員の佐藤悠太郎さんが、漁業協同組合の仕組みを始め、組合員や漁船が減少の一途をたどっていること、そのため新規就業者確保の取り組みを行っていること、また水産資源が枯渇しないよう資源管理に力を入れていること、そして皆さんに少しでも魚や漁業に興味を持ってほしいことを話の中で強調していました。

また、立体冷蔵庫では、極寒を体感してもらいながら冷凍のスルメイカやマグロ等実際にみて触れて、食卓に並ぶ前の姿を見ていただきました。



酒田市立第二中学校・鳥海八幡中学校 職場体験



10月4日(火)、酒田市立第二中学校から2名、翌5日(水)は鳥海八幡中学校から1名の生徒さんが、職場体験で当漁協へ来てくれました。あいにく時化に当たってしまい、水揚げや競りの様子はお見せできませんでしたが、漁協施設や、庄内浜の主な漁業種類についてなどを当漁協の齋藤金一さんと、さかた総合市場の佐藤嘉高市場長代理が講話しました。

もしかして、数年後に私たちの仲間として一緒に働く日が来るかもしれないと思うとわくわくします。そうでなくても、今回の体験を時折思い出してくれたらうれしいです。この紙面をご覧の若い方、ぜひ漁協の見学にいらしてください。

みなさん、お越しいただきありがとうございました。

販売企画課長代理
岡部 太郎

加茂水産高校 課題研究中間発表会

本年10月20日(木)に本校の課題研究中間発表会を実施しました。課題研究の目標は「水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す」です。今回の発表内容を以下に紹介いたします。

- 1 「漁業就業者の減少について」→漁業者減少の状況を調べ、その状況を課題として捉えて漁業支援事業に結びつけています。
- 2 「海光丸の活用方法について」→令和3年度に導入したハイテク小型実習艇の効果的利用方法について研究しています。
- 3 「海をテーマに加茂地区と連携・活性化」→加茂地区で展開する海洋に関わる取り組みについて調査し、自分達が参画できるものについて研究しています。

その他、波力発電、海苔の陸上養殖、地域の特産品を利用したウニの養殖、海老出汁ラーメンの研究などバラエティーに富んでいます。

最終の発表会は令和5年1月19日(木)本校を会場に実施しますので、是非見に来てください。

山形県立加茂水産高等学校 教頭 板垣 寿勇



理事会情報

令和4年度 第6回 理事会議案
開催日…令和4年10月25日(火)
場所…本所 第一会議室

【協議事項】

- 1 令和4年度上半期収支状況について
- 2 貸付金の審議について
- 3 東日本信用漁業協同組合連合会への信用事業譲渡について

【報告事項】

- 1 令和5年度水産業振興に関する要望書について
- 2 令和4年9月末貸付金の状況について
- 3 信用・経済事業貸倒債権等の回収状況について
- 4 令和4年9月末資金運用状況について
- 5 令和4年9月末余裕金の運用状況について
- 6 貸付金利率の改定について
- 7 令和4年度内部監査結果について
- 8 令和4年度栽培漁業実施結果について
- 9 令和4年度指導事業賦課金徴収実績について
- 10 令和4年度第2四半期における販売促進活動について
- 11 令和4年度第2四半期の「庄内海丸」の収支について
- 12 第3回コンプライアンス推進委員会開催について
- 13 組合員の加入・脱退・減資について
- 14 その他

加工品詰合せ

甘鯛西京漬(12尾) 宇八カレイ一尾(干し)
 天然真鯛干し(干し) 天然岩もずく
 シヤキとろろ干し(干し) アジ塩干し
 子のいかにの煮付け
 真いか塩干し

合計8品

3,500円(税込)

庄内浜のお歳暮

申込期間 令和4年 11/11(金)~12/16(金)

送料/関東圏まで1,375円(税込)※他遠方への発送はお問い合わせ下さい。

TEL 0235-73-3722 FAX 0235-73-3688

山形県漁業協同組合
由良水産加工場

〒999-7464 山形県鶴岡市由良一丁目8-10

お申込みはお電話かFAXで！
 【お届け先のご住所・ご芳名・電話番号】
 【お客様の住所・ご芳名・電話番号・注文数】をお忘れなくお伝え、ご記入下さい。迅速に発送致しますが、遠方のお届け先の場合や配送状況により到着まで日数をいただく場合がございます。発送の際は撥水段ボール箱での発送、現地受け取りは発泡スチロール箱のご対応となります。

庄内浜の
おいしさを
ご自宅にお届け
します!

酒田の水揚げを支えている
スルメイカ漁業を応援

いかのまち酒田 × ふるさと納税

山形いか釣り船団応援プロジェクト



酒田港から出航する第86若潮丸

山形県酒田市では、「山形いか釣り船団応援プロジェクト」に取組み、ふるさと納税の制度の活用により、いか釣り漁船の乗組員への支援を充実したいと考えています。皆様のご支援を心よりお待ちしております。(写真は返礼品の一例です。)



申込期間

令和4年12月31日(土)まで

お申込

「ふるさとチョイス」クラウドファンディングページよりお申し込みください。

お申し込みは
こちら！



「いかのまち酒田」PR動画を
ご覧いただけます。



お好みの
返礼品を
選んでね

酒田市マスコットキャラクター



お問い合わせ：酒田市役所 農林水産課 TEL0234-26-5753

あったかいをとどけたい

OIL WITH LIFE



灯油拡販キャンペーン実施中

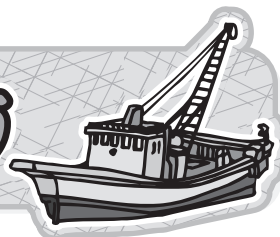
ご用命は
山形県漁協各支所まで

吹浦支所	☎0234-77-2501
飛鳥支所	☎0234-95-2014
さかた総合市場	☎0234-24-5617
加茂出張所	☎0235-33-3328

由良総括支所	☎0235-73-3011
豊浦支所	☎0235-73-3006
温海出張所	☎0235-43-3434
念珠閣総括支所	☎0235-44-2100

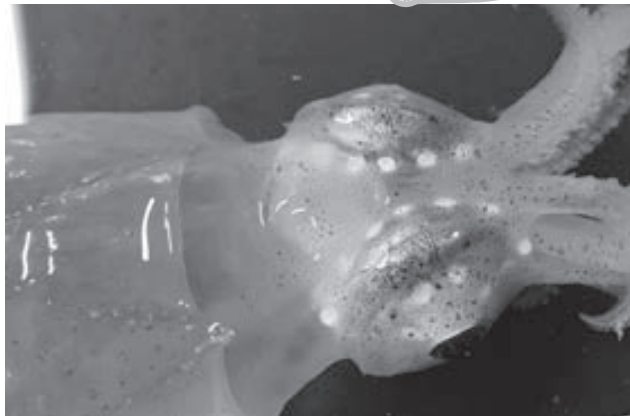


何でも魚^{うお}ツチング



深海からの珍客

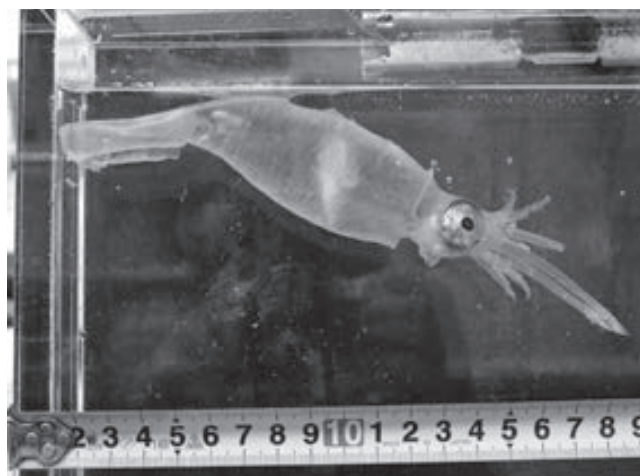
このたび念珠閣総括支所所属第五平安丸の五十嵐船頭から珍しいイカを活魚で提供いただきましたので、ご紹介いたします。このイカは10月16日に由良沖の水深420mで底びき網に入網したとのことで、膨らんだ体と目の周辺に並んだ発光器といった特徴



目の周辺にある丸い発光器が特徴

から「ホウズキイカ」というイカであることが分かりました。発光器は自分の影を消して敵から姿を隠す役割を担っていると考えられているそうです。世界の温熱帯地域に分布する種で、県内での報告は今回が初めてでした。

水産研究所では珍しい魚介類の出現情報を集めておりますので、お気軽にご連絡ください。



ホウズキイカ(外套長120mm、体重63.6g)

山形県水産研究所海洋資源調査部 研究員 榎 宗市郎

「85歳。2人に1人が介護の時代」に、私たちができる介護の備え。

11月11日は介護の日です。今日は、介護について少し皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

皆さんご存じのとおり、高齢化社会の日本では、介護を必要とする人は20年間で増加を続けており、2020年4月時点で、要介護の方は約481万人います。

また、年齢が進むにつれて、介護が必要な方も増加し、85歳以上の約2人に1人は、介護が必要とされています。

介護状態になり、期間が長くなればなるほど「お金の負担」が大きくなっていきますので、ご家族の負担を少なくするためには、「介護の備え」が大変重要なポイントになってきます。

介護費用は、介護保険や年金ではカバーしきれないことがほとんどであり、初期費用や月々の自己負担が発生します。平均すると、介護費用の総額は一生涯で500万かかると言われています。

詳しくは、隣のページをご覧ください!



信用共済課長 大淵 敬三

当組合では、世の中のニーズをとらえ、介護共済「あしすと」、「あしすとぶらす」をご準備しております。

ぜひ、この機会に介護について一緒に考えていきましょう。

(※出展:厚生労働省「介護給付費等実態統計月報(令和2年9月審査分)/総務省「人口推計(令和2年9月1日現在確定値)」より算出)





JF JF共済 選べる介護共済！

あしすこ 一時払介護共済

60代・70代の方へおすすめ

- ・年齢を重ねるにつれて高まる介護等の不安へ一生備えることのできる共済です。
- ・ご高齢の方でも（80歳まで）まとまった資金を活用して、簡単な告知で加入することができます。
- ・要介護状態となった場合に生じる、一時的な多額の出費に備えることができます。
- ・介護共済金は、公的介護保険制度の要介護認定に連動してお支払いする、わかりやすい仕組みです。

ご加入例：共済金額200万円

お申込みいただく共済掛金（一時払）

加入年齢	男性	女性
40歳	1,562,620円	1,637,280円
50歳	1,674,320円	1,723,700円
60歳	1,794,380円	1,815,000円
70歳	1,908,340円	1,907,180円
80歳	1,998,060円	1,987,160円

例えば共済金額200万円で加入した場合



▲ご加入

※介護共済金、高度障害共済金、死亡共済金のいずれかをお支払いした場合、契約は消滅します。

あしすこ パラス

三大疾病保障特約付介護共済

- ・身近な不安、将来への不安に備えることのできる共済です。
- ・三大疾病や介護について、働けない期間の経済的負担について、まとまった一時金で備えることができます。
- ・介護保障と三大疾病保障を合わせることで、幅広い世代のニーズに応えます。

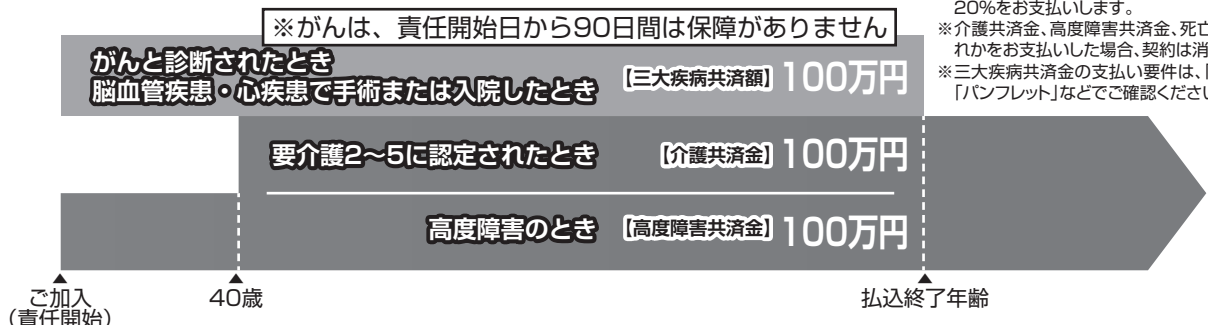
20代～50代の方へおすすめ

ご加入例：共済金額100万円

お申込みいただく共済掛金（一時払）

加入年齢	男性（月払）		女性（月払）	
	60歳払込終了	80歳払込終了	60歳払込終了	80歳払込終了
20歳	2,060円	2,770円	2,380円	2,490円
30歳	2,670円	3,500円	3,080円	3,050円
40歳	3,800円	4,600円	4,310円	3,800円
50歳	6,740円	6,360円	7,500円	4,890円

例えば共済金額100万円で加入した場合



※万一の場合は、死亡給付金20万円（共済金額×20%）をお支払いします。

※介護共済金、高度障害共済金、死亡給付金のいずれかをお支払いした場合、契約は消滅します。

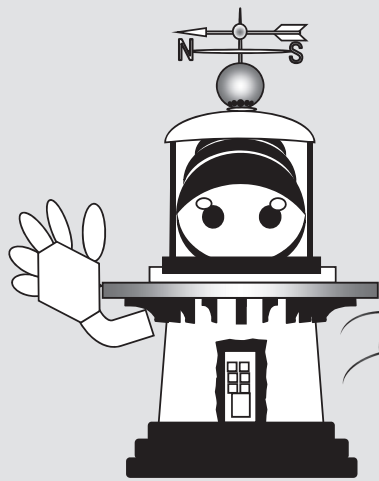
※三大疾病共済金の支払い要件は、「加入設計書」、「パンフレット」などでご確認ください。

※以上は、プランの概要です。ご契約の前に必ず「加入設計書」や「パンフレット」、「契約概要」、「ご契約のしおり・共済約款」とあわせてお読みいただき、共済金の支払要件など保障内容をご確認・ご了解のうえお申込みいただけますようお願い申し上げます。ご契約に際しては「ご契約に関する重要事項 注意喚起情報」も必ずお読みください。

お問い合わせは 山形県漁業協同組合／JF共水連東北事業本部山形支店 まで

酒保の海だより

酒田海上保安部から皆様のお役に立つ情報第四弾！！
 だんだん冬に近づき、出漁前に海の状況が気になるところです。
 そんな時、家からでも確認できる方法・・・ライブカメラです。
 どうぞご活用ください。



出漁前 波の具合はどんだ？は酒田灯台ライブカメラで確認できます



酒田海上保安部のホームページから見る事ができます QRコードまたは検索:【酒田海上保安部】



海の事件・事故は電話118番

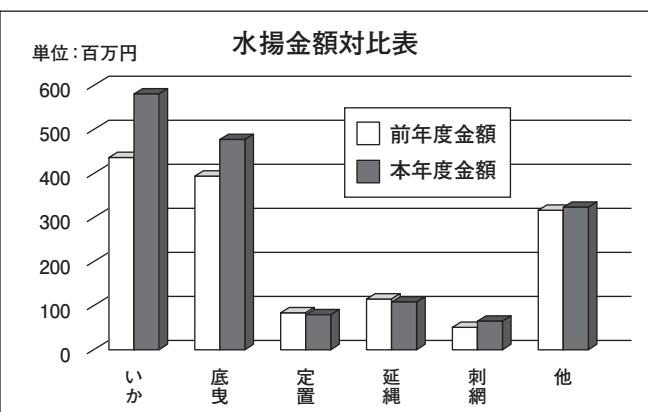
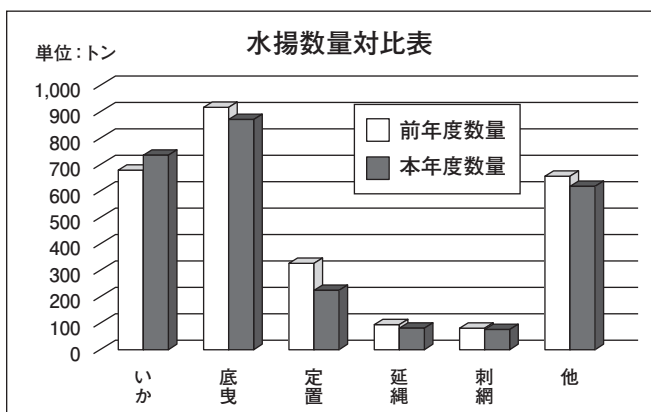
酒田海上保安部

漁業種類別前年度水揚対比表

令和4年10月31日現在

(単位: kg, 千円)

	10月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	10月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	114,329	870,629	918,161	▲47,532	129,456	477,340	395,196	82,144
2 刺網漁業	8,365	71,911	76,153	▲4,242	13,136	67,548	53,453	14,095
3 いか一本釣漁業	9,700	407,415	95,747	311,668	8,569	242,787	65,152	177,635
4 船凍いか釣漁業	92,944	323,800	579,216	▲255,416	99,852	338,412	372,128	▲33,716
5 はえなわ漁業	6,487	75,951	87,118	▲11,167	7,622	111,180	119,059	▲7,879
6 ごち網漁業	9,934	90,197	83,355	6,842	6,388	56,701	43,679	13,022
7 定置網漁業	48,948	218,197	323,090	▲104,893	28,152	83,669	85,497	▲1,828
8 採貝藻漁業	7,813	64,008	93,926	▲29,918	3,627	56,957	71,135	▲14,178
9 その他の漁業	49,282	451,420	474,080	▲22,660	10,789	154,200	144,634	9,566
10 張網漁業	0	7,525	3,123	4,402	0	3,923	1,317	2,606
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	10,070	53,468	57,016	▲3,548
合計	347,802	2,581,053	2,733,969	▲152,916	317,661	1,646,185	1,408,266	237,919




水揚情報

令和4年10月31日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
9月末迄水揚累計		1,285,131	44,922	42,491	575,045	76,669	128,029	74,827	21,833	321,315
月間水揚	県内船水揚	204,216	11,094	3,835	34,374	14,531	47,929	27,281	2,998	62,174
	県外船水揚	103,374	0	0	103,374	0	0	0	0	0
	合計	307,590	11,094	3,835	137,748	14,531	47,929	27,281	2,998	62,174
前年同月水揚		217,993	8,151	1,804	63,321	10,625	37,537	24,491	5,773	66,291
本年度水揚	県内船水揚	1,048,671	56,016	46,326	227,144	91,200	175,958	102,108	24,831	325,088
	県外船水揚	544,049	0	0	485,649	0	0	0	0	58,400
	合計	1,592,720	56,016	46,326	712,793	91,200	175,958	102,108	24,831	383,488
前年度水揚累計		1,351,244	49,021	35,090	603,171	86,233	152,525	91,645	26,431	307,128
増減		241,476	6,995	11,236	109,622	4,967	23,433	10,463	-1,600	76,360
本年度水揚計画		2,400,000	95,000	68,500	1,047,000	144,500	308,000	195,000	34,000	508,000
達成率		66.3%	58.9%	67.6%	68.0%	63.1%	57.1%	52.3%	73.0%	75.4%

今あがっている魚 - 10月のベストテン - 前年対比 増↗減↘変らず→

水揚金額(千円)				漁獲量(kg)				
1	するめいか	117,748 ↗		1	するめいか	115,415 ↗		
2	ずわいがに	36,089 ↗		2	べにずわい	44,610 ↗		
3	女かに	32,462 ↗		3	さけ	29,677 ↗		
4	さけ	20,413 ↗		4	たい	23,337 ↗		
5	たい	15,146 ↗		5	ぶり・いなだ	16,105 ↗		
6	ほっこくあかえび	14,997 ↗		6	ほっけ	14,698 ↗		
7	べにずわい	6,245 ↗		7	女かに	14,499 ↗		
8	あまだい	5,529 ↗		8	ずわいがに	11,263 ↗		
9	たら	3,924 ↗		9	たら	10,612 ↗		
10	さわら	3,867 ↘		10	ほっこくあかえび	9,403 ↘		

月間MVP

月間MVP

●今年も早いもので残り1ヶ月余りです。11月は旧暦を「霜月(しもつき)」と呼び、霜月は文字通り霜が降る月の意味ですが、段々と寒さを感じる季節となりました。年を重ねるごとに一年が早く感じ、振り返る間もなく一年が過ぎようとしています。だからこそ一日一日を大切に過ごしていきたいと感じております。

●ズワイガニ漁の解禁に続き、定置網にも鮭が入るようになり、市場もより活気づき、冬の味覚とともに季節の変わり目を実感しています。これからの大漁を期待します。

●全国旅行割がスタートしました。旅行特需により今年の冬は外出する機会が増え、山形県に於いても経済効果が期待できそうです。コロナ禍のステイホームにも慣れてきたところですが、一日も早く普段通りの生活に戻るのをお祈りしております。

●新型コロナウイルスについてはまだまだ油断を許さない状況です。季節柄、インフルエンザの流行も予測されますので、手洗いうがい、マスク着用など予防を徹底して、体調管理には十分留意したいものです。

●「すいさん山形」は、組合員の皆様方のお役に立てる様々な情報や話題を共有し、愛される広報誌作りを心掛けております。今後ともご意見・情報等ご提供くださいますようお願いいたします。



山形県漁業協同組合 由良総括支所

斎藤 大将

漁協系統功労者表彰 及び JF全漁連創立70周年記念功労者表彰

JF全漁連が主催する、漁協系統功労者表彰式が11月16日(水)に東京會館「S A K U R A」において執り行われました。

この賞は漁協系統運動や漁業・漁協事業に貢献した漁業者に対して贈られるものであり、山形県からは県漁協の本間元幸監事が授与されました。

また、同日同会場においてJF全漁連創立70周年記念功労者表彰も行われ、こちらは県漁協の本間昭志代表理事組合長が授与されました。

この度は受賞おめでとうございます。



左から本間監事と本間組合長

機船底曳網漁業協議会 会長就任のごあいさつ



志田 正

令和3年度山形県機船底曳網漁業協議会総会（書面決議）で、新たに会長に選任いただきました豊浦支所所属進成丸の志田正です。

会長の重責を担うという戸惑いもありながら、毎日操業に励んでいるところですが、近年の海洋環境の変化による漁獲減少に加え、ロシアのウクライナ侵攻や円高等の影響で、燃油や資材の価格が高騰し、漁業経営は年々厳しさを増していると実感しています。

このような中で、我々底曳網漁業は、山形県漁業の基幹漁業として、どのような役割を果たすべきかを考えていかなければとも思っています。

当協議会では、いち早く休漁日の設定や網目規制などの資源管理型漁業への取組みや、鮮度保持のための海水冷却機の導入など、将来にわたる安定した漁業経営を目指し、新たな取組を行ってききましたが、今後も先駆的な取組を会員一丸となって進めていきたいと考えております。

そのためにも、県、市町、県漁協等の関係者の皆様におかれましては、より一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第6回 魚まつり in山形 開催!!



令和4年11月6日(日)に山形市の霞城センターで第6回庄内浜魚まつりin山形を新型コロナウイルスの影響により2年ぶりに開催しました。

まずは庄内浜文化伝道師である庄内海丸の軽部奈美さん、玉谷貴子さんにMCの三浦友加さんを加えたトリオによるお魚さばき実演！当日は由良で水揚げされたサケを披露していただきました。

さらに今年も、山形県初のご当地サーモン「ニジサクラ」の釣り堀を開催！整理券が即完売となるほどの大盛況

況となりました。

他にも、フードコートでは庄内浜産の水産物を使った出来立ての揚げ物やかまぼこ、焼き物などを味わうことができましたほか、水産加工品の販売や海岸漂着物を利用した万華鏡作り、キャンドル作り、タッチプールなど、様々な企画が目白押しとなりました。

これからも、庄内浜の魚をPRするためのイベントを開催していきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

庄内浜の魚消費拡大委員会(事務局：山形県農林水産部水産振興課) 技術 太田 稔章